

## 平成27年度第1回鎌ヶ谷市図書館協議会会議録

1 開催日時 平成27年7月8日(水)午後2時～午後2時55分

2 開催場所 鎌ヶ谷市立図書館3階保育室

3 出席者

(1) 委員 鶴岡政彦委員 浜口貞美委員 伊藤眞由美委員  
渡辺みどり委員 滝本はる恵委員 小茂田茂委員  
樋口美佐子委員 五十嵐恵委員 高津みどり委員

(2) 市側 山口生涯学習部長  
(事務局) 石井生涯学習推進課長 高橋図書館長  
米井主査 高地

(3) 傍聴人 なし

4 委員任命式

鎌ヶ谷市図書館協議会に先立ち、「委員任命式」を行う。

- (1) 任命書の交付
- (2) 生涯学習部長挨拶

5 鎌ヶ谷市図書館協議会

### 【議題】

委員長・副委員長の選出

### 【報告】

図書館事業の概要

平成27年度先進地視察について

(1) 議案の審議内容

委員長・副委員長の選出にあたり、委員全員の了解のもとで石井生涯学習推進課長が仮議長となる。

○委員長・副委員長の選出について

委員長及び副委員長は、鎌ヶ谷市図書館協議会運営規則第2条の規定により、委員の互選で次のように決定した。

委員長 鶴岡政彦委員

副委員長 浜口貞美委員 樋口美佐子委員

以降、鶴岡委員長が鎌ヶ谷市図書館協議会運営規則第3条の規定により議長として議事を進行する。

○会議録署名委員の選出について

会議録署名委員は、名簿順に2人選出するものとし、今回の会議録署名委員は、浜口委員と伊藤委員に決定した。

## (2) 報告事項

○図書館事業の概要

事務局より、「図書館協議会の概要」及び「平成27年度の事業計画」について説明を行う。

(質疑応答)

委員 平成27年度事業計画に位置付けられている読み聞かせ講座は、昨年度からスタートした事業であるが、「小学校で読み聞かせを行っている保護者等を対象に学校・公民館等と連携し、読み聞かせの基礎講座を実施する」という内容になっているが、教育委員会学校教育課指導室とも連携しているはずである。

事務局 この事業は、学校教育課指導室を通して参加者を募らせていただいております、委員のご発言のとおりである。

委員 この読み聞かせ講座に参加させていただいたが、参加者の募集方法に関して、参加対象となるボランティアの的確な把握とボランティア活動に即した時期での募集、さらには、小学校の各クラスで読み聞かせ活動をしているお母さん方へ参加募集の通知がきちんと届くように関係機関と調整を図っていただきたい。

事務局 今年度の読み聞かせ講座の募集は終了したので、来年度の募集においてご意見を踏まえて学校教育課指導室と調整してまいります。

委員 この講座は、学校という公の場所、集団を対象に読み聞かせを行っていくための心得等、基礎的な内容となっております。こうした講座が、各学校の近くの公民館に講師が出向いて行われることから、読み聞かせの経験の浅い方々にとっては、とても参考になる講座だと思うので、その実施方法に関して工夫をしていただきたい。

○平成27年度先進地視察について

事務局より、視察候補先として「日比谷図書文化館」を提案する。  
また、視察時期については、10月の中旬～下旬を提示する。

(質疑応答)

委員 一意見等、特になし一

委員長 日比谷図書文化館と今後日程調整を行うこととする。

(3) その他

委員 鎌ヶ谷市の事業仕分けでは、図書館の運営に関して高度な機能を果たせるようにすることが課題として与えられたと記憶している。図書館協議会では、この観点から意見書を提出させていただいたが、平成27年度の事業計画を見ると、レベルの高い運営がなされるようになったと思う。

辞書で図書館の定義を調べると、図書広くその他の資料を収集・整理・保管して、必要に応じて利用者に供する施設というのが基本だとある。市民の価値観が多様化し、いろいろな立場から知る権利を求めて要望される方が増えている中で、いろいろな角度から収集、整理、保管を行うにあたっては、中立であることが求められると思う。本市の図書館とは直接関係ないが、昨年、「はだしのゲン」の図書を図書館に置くことは、刺激が強すぎる等、戦争のことを子供たちに見せない方が良くといったいろいろな意見が出されたが、どうして過去の記録を奥へやってしまうのか違和感を覚えた。さらに、今年4月から教育委員会制度が改正され、直接的に行政の意向で動けるようになり、これは、いろいろな側面がこれから出てくると思うので見守っていきたい。

そうした中で、知る権利を保障する場として図書館は、パブリックホールとして大事な機関である。もし、本市が図書館運営に関する方策を検討する場面が生じたら、出来るだけ市民の意向を諮る場として本協議会を活用していただきたいと思う。そうすれば、市民に開かれた図書館運営がなされると分かり、市に対する肯定感も高くなると思う。

委員長 前向きなご意見として、鎌ヶ谷市立図書館の運営を図書館だけに任せるのではなく、私たちも中心になってバックアップできたらと理解させていただいた。市民公募の委員もおられるので、市民の声を吸い上げながら、もっと図書館の利用方法を良くしていこうとのご意見でよろしいか。

それでは、以上をもちまして閉会することとする。

以上、会議の経過を記載し、相違ないことを証するため、次に署名する。

平成27年 8月21日

署名人 浜口 貞美 印

署名人 伊藤 眞由美 印